

2015年度FD報告書2

プロジェクト名：英語Bプレゼンテーション技能カリキュラム

関係教員：ヒンクルマン・D、佐藤・K、コッター・M、コホ・J、宮町 誠一

事業報告：この事業は、英語I、II、III、IV、Bのすべての授業にプレゼンテーション技能カリキュラムを追加したものである。2015年度より、前述した授業に参加する生徒は前後期それぞれ1度ずつプレゼンテーションを行うことが義務付けられた。そこで、前期の第8週から10週（6月2日から22日）の間で、すべての非常勤教員と常勤講師は生徒たちに、ポスターまたはスクラップブックを用いた彼らについてのプレゼンテーション（地元、大学で興味のあるもの、個人の興味のあるもの、就職希望など）を作成させた。これらのポスターまたはスクラップブックを用いたプレゼンテーションは、ポスターなどを含めクラス内で作成された。私たちが計画した事業には、以下の4つの点があった。

1、current English Bの講師により自作の資料を作成する

2014年の2月から3月の間で、「Dream in English」という教科書の中に、スピーチ作成に関する特別なユニットを作成した。さらに、オンラインクイズアクティビティを自作の絵とともに作成した。

2、魅力的で理解しやすい資料作成のため、学生イラストレーターを雇う

当大学の絵が得意な生徒1名が、スピーチをする際の技能に関する作画を20ページほど担当した

3、ポスター作成に用いられる材料を注文する

英語Bを担当する非常勤教員、常勤講師のために、ポスターを作成する道具が入った箱を購入した。購入した箱の中には、ハサミやマーカー、ノリやクレヨンなどの、プレゼンテーションに用いるポスターを作成するための道具が揃っていた。その箱はA202教室に保管され、教員たちはそれぞれの授業のために持ち出した。

4、2015年3月にパンフレットを印刷する

プレゼンテーション作成に関する8ページのユニットを作成し、教科書に加えた。（別紙参照）

さらに、2015年1月16日、小樽商科大学とともにスピーチコンテストを開催することとなった。我々は、英語IIIBと英語IVBを履修している2年生の生徒にコンテストに参加するように勧め、当大学内で特に優れた7つのプレゼンテーションチームを選出するためのコンテストを2014年の12月に行った。これにより選出された7チーム（14名）が小樽商科大学とともに行われたコンテストに参加し、当大学のチームが、公正な審査の元により1位と3位に輝いた。

我々はこれらの結果によって大いに励まされ、2015年度の後期では、当大学全体でのスピーチコンテストを開催することを予定しており、各学部の最優秀発表者にトロフィーを授与したいと考えている。

2015年7月1日 D. W. ヒンクルマン